

日常検査

基準範囲の出典記載について：共用基準範囲を(共)、試薬添付書を(添)、メーカー推奨を(メ)、臨床検査法提要第35版（金原出版）を(提)、参考書籍を(書)と記載します。

a) 生化学検査

項目名称	項目略称	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲出典	容器番号	材料
総蛋白	TP	ビュレット法	6.6～8.1	g/dL	(共)	01	血清
アルブミン	ALB	BCP 改良法	4.1～5.1	g/dL	(共)		
アルブミン、グロブリン比	A/G	TP・ALB より算出	1.32～2.23				
尿素窒素	BUN	Urease-GLDH 法	8～20	mg/dL	(共)		
クレアチニン	CRE	酵素法	M: 0.65～1.07 F: 0.46～0.79	mg/dL	(共)		
推算糸球体濾過量	eGFR	血清クレアチニン、年齢、性別から計算					
尿酸	UA	Uricase-POD 法	M: 3.7～7.8 F: 2.6～5.5	mg/dL	(共)		
ナトリウム	Na	イオン選択電極法 (希釈法)	138～145	mmol/L	(共)		
カリウム	K		3.6～4.8	mmol/L	(共)		
クロール	Cl		101～108	mmol/L	(共)		
カルシウム	Ca	酵素法	8.8～10.1	mg/dL	(共)		
無機リン	IP	酵素法	2.7～4.6	mg/dL	(共)		
グルコース	GLU	ヘキソキナーゼ・G-6-PDH 法	73～109	mg/dL	(共)		
中性脂肪	TG	酵素比色法 (グリセロール消去法)	M: 40～234 F: 30～117	mg/dL	(共)		



総コレステロール	TC	酵素法 (コレステロール酸化酵素法)	142～248	mg/dL	(共)		
HDL-コレステロール	HDL-C	直接法	M: 38～90 F: 48～103	mg/dL	(共)		
LDL-コレステロール	LDL-C	直接法	65～163	mg/dL	(共)		
総ビリルビン	TB	酵素法	0.4～1.5	mg/dL	(共)		
直接ビリルビン	DB	酵素法	0.05～0.3	mg/dL	(添) *1		
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	AST	JSCC 標準化対応法	13～30	U/L	(共)		
アラニンアミノトランスフェラーゼ	ALT	JSCC 標準化対応法	M: 10～42 F: 7～23	U/L	(共)		
乳酸脱水素酵素	LD	IFCC 標準化対応法	124～222	U/L	(共)		
アルカリホスファターゼ	ALP	IFCC 標準化対応法	38～113 (注1)	U/L	(共)		
γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	γ-GT	JSCC 標準化対応法	M:13～64 F: 9～32	U/L	(共)		
コリンエステラーゼ	ChE	JSCC 標準化対応法 (p-ヒドロキシベンゾイルコリン基質)	M:240～ 486 F: 201～421	U/L	(共)		
アミラーゼ	AMY	JSCC 標準化対応法 (G7-pNP 基質法)	44～132	U/L	(共)		
クレアチンホスホキナーゼ	CK	JSCC 標準化対応法	M: 59～248 F: 41～153	U/L	(共)		
CK-MB	CK-MB	免疫阻害法	0～6	U/L	(提)		
ロイシンアミノペプチダーゼ	LAP	L-ロイシン-p-ニトロアニリド基質法	30～70	mU/mL	(添) *3		
鉄	Fe	直接比色法 (Nitroso-PSAP 法)	40～188	μg/dL	(共)		
不飽和鉄結合能	UIBC	直接比色法 (Nitroso-PSAP 法)	M: 170～ 250 F: 180～270	μg/dL	(提)		
総鉄結合能	TIBC	Fe・UIBC より算出	M: 253～ 365	μg/dL	(提)		



			F: 246～410				
血清浸透圧	OSM	氷点降下法	275～290	mOS M/kg	(提)		
マグネシウム	Mg	グルコキナーゼ酵素 法	1.8～2.4	mg/dL	(添) *4		
リパーゼ	LIP	酵素法(モノグリセ リドリパーゼ・カラ ーレート法)	5.0～33.0	U/L	(メ) *1		
アンモニア	NH ₃	微量拡散法(プロモ フェノールブルー)	12～66	μg/dL	(添) *7	05	全 血 (ヘ パ リ ン 加)
血糖	GLU	GOD 固定化酵素法	73～109	mg/dL	(共)	06	血 漿 (N aF 加)
蛋白分画	A/G 比	アガロースゲル電気 泳動法	1.21～1.89	%	(添)* 7	01	血 清
	ALB		54.8～65.4				
	α ₁ -G		2.3～3.8				
	α ₂ -G		5.0～8.9				
	β-G		9.0～14.6				
	γ-G		13.2～23.9				
ヘモグロビン分画	HbA _{1c}	HPLC 法	HbA _{1c} 4.9-6.0	%(NG SP)	(共)	06	全 血 (N aF 加)
			HbF 1.5 以 下		(添) *8		
亜鉛	Zn	キレート法	80～130	μg/dL	(提)	01	血 清



注1：20歳未満におけるALP（アルカリフォスファターゼ）の年齢別・男女別の基準範囲は以下の通りです。

年齢	男		女	
	下限値	上限値	下限値	上限値
0 カ月	186	564	186	564
1 カ月	179	567	179	567
2 カ月	172	571	172	571
3 カ月	168	567	168	567
4 カ月	161	562	161	562
5 カ月	154	560	154	560
6 カ月	147	553	147	553
7 カ月	144	546	144	546
8 カ月	140	543	140	543
9 カ月	138	532	138	532
10 カ月	137	522	137	522
11 カ月	136	508	136	508
1 歳	138	469	138	451
2 歳	144	438	144	403
3 歳	147	420	147	396
4 歳	151	420	151	403
5 歳	151	420	158	420
6 歳	154	431	161	438
7 歳	158	438	165	455
8 歳	158	455	165	473
9 歳	161	490	168	490
10 歳	161	508	165	508



11 歳	165	525	140	508
12 歳	159	525	105	483
13 歳	140	507	77	438
14 歳	123	473	63	392
15 歳	95	420	54	315
16 歳	77	368	45	256
17 歳	70	298	42	200
18 歳	60	231	42	151
19 歳	56	175	42	130

出典：ALP、小児の臨床検査基準値ポケットガイド第2版

b) 血清検査（免疫学検査）

項目名称	項目略称	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容 器 番 号	材 料
RPR 定性（定量）	RPR	免疫比濁法	(-) < 1.0	R.U.	(添) * 10	01	血清
TP 抗体定性	TP-Ab	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	(-)		(添) * 7		
HBs 抗原定性	HBsAg	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	(-)		(添) * 7		
HBs 抗体定性	HBsAb	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	(-)		(添) * 7		
HCV 抗体	HCVAb	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	(-) < 1.0	COI	(添) * 12		
HTLV-I/II抗体	HTLV-1/2	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	< 1.0	COI	(添) * 7		
HIV 抗原/抗体	HIV Ag/Ab	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	< 1.0	COI	(添) * 7		
HIV-1/2 抗体確認検査	HIV-1/2Ab	イムノクロマト法	陰性		(添) * 18		
リウマチ因子定	RF	免疫比濁法	< 15	IU/mL	(添) * 13		



量							
HBc 抗体	HBcAb	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	< 1.0	S/CO	(添) *11		
可溶性インターロイキン-2 レセプター	sIL-2R	免疫比濁法	204~587	U/mL	(添) *6		
血清補体価	CH50	50% 溶血法	32~58	CH ₅₀ /mL	(添) *14		
C 反応性蛋白	CRP	ラテックス免疫比濁法	0.00~0.14	mg/dL	(共)		
免疫グロブリン IgG	IgG	免疫比濁法	861~1747	mg/dL	(共)		
免疫グロブリン IgA	IgA	免疫比濁法	93 ~393	mg/dL	(共)		
免疫グロブリン IgM	IgM	免疫比濁法	M : 33~183 F : 50~269	mg/dL	(共)		
IgE	IgE	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤232	IU/mL	(添) *7		
補体蛋白 C3	C3	免疫比濁法	73~138	mg/dL	(共)		
補体蛋白 C4	C4	免疫比濁法	11~31	mg/dL	(共)		
トランスフェリン	Tf	免疫比濁法	190 ~320	mg/dL	(添) *13		
遊離トリヨードサイロニン	FT3	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	2.30~4.30	pg/mL	(添) *11		
遊離サイロキシン	FT4	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	0.90~1.70	ng/dL	(添) *11		
甲状腺刺激ホルモン	TSH	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	0.50~5.00	μIU/mL	(添) *11		
α-フェトプロテイン	AFP	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	2.00~8.78	ng/mL	(添) *11		
癌胎児性抗原	CEA	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤5.0	ng/mL	(添) *11		



CA19-9	CA19-9	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	$\leq <37$	U/mL	(添) * 11		
扁平上皮癌関連抗原	SCC	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	0.6-2.3	ng/mL	(添) * 11		
前立腺特異抗原	PSA	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤ 3.53	ng/mL	(添) * 11		
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド	BNP	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤ 18.4	pg/mL	(添) * 11	11	血 漿 (EDTA 加)
サイトケラチン 19 フラグメント	CYFRA	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤ 2.8	ng/mL	(添) * 7	01	血清
CA125	CA125	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	≤ 35.0	U/mL	(添) * 11		
KL-6	KL-6	免疫比濁法	105~401	U/mL	(添) * 6		
PIVKA-2	PIVKA-2	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	11.1~ 32.0	mAU/ mL	(添) * 15		
フェリチン	Fer	ラテックス免疫比濁法	M : 50~ 200 F : 12~ 60	ng/mL	(添) * 14		
プロラクチン	PRL	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	M : 3.5~ 19.4 F : 5.2~ 26.5	ng/mL	(添) * 11		
β HCG	β HCG	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	< 5.0	mIU/ mL	(添) * 11		
IRI (インスリン)	IRI	CLIA 法 (化学発光免疫測定法)	5.0~10.0	μ U/ mL	(添) * 11	① (負 荷 ⑦)	
TG 抗体	TG Ab	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	<28	IU/mL	(添) * 7	①	



TPO 抗体	TPO Ab	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	<16	IU/mL	(添) *7		
プレアルブミン (トランスサイレチン)	Pre Alb	免疫比濁法	22.0～ 40.0	mg/dL	(添) *13		
レチノール結合 蛋白	RBP	免疫比濁法	M: 2.7～ 6.0 F: 1.9～ 4.6	mg/dL	(添) *13		
プロカルシトニン	PCT	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	< 0.05	ng/mL	(添) *9		
マトリックスメ タロプロティナ ーゼ-3	MMP-3	免疫比濁法	M: 36.9～ 121 F: 17.3～ 59.7	ng/mL	(添) *6		
インタクト PTH	I-PTH	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	15～65	pg/mL	(添) *9		
成長ホルモン	hGH	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	M : ≤ 2.47 F : 0.13～ 9.88	ng/mL	(添) *9		
トロポニン T	TnT	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	≤0.014	ng/mL	(添) *9		
コルチゾール	Cortisol	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	7.07～ 19.6	μg/dL	(添) *11	01 22	血清 血漿
副腎皮質刺激ホ ルモン	ACTH	ECLIA 法 (電気化学発光免疫測定法)	7.2～63.3	pg/mL	(添) *9	22	血漿
エンドトキシン		比濁時間分析法	< 5	pg/mL	(添) *3	08	血漿 (ベ ノヘパリン 加)
β-D-グルカン		発色合成基質法	< 11	pg/mL	(添) *3		
尿中レジオネラ 抗原	レジオネ ラ	イムノクロマト法	陰性			14	尿
尿中肺炎球菌莢 膜抗原	肺炎球菌	イムノクロマト法	陰性				



c) 尿生化学検査

検査項目	測定方法	基準範囲		単位	基準範囲 出典	容 器 番 号	材 料
Na	イオン選択電極法（希釈法）	125～250		mmol/day	(提)	09	尿
K		50～100		mmol/day	(提)		
Cl		70～250		mmol/day	(提)		
Ca	酵素法	100～300		mg/day	(提)		
P	酵素法	400～1000		mg/day	(添) * 16		
PRO	ピロガロールレッド法	31.2～120.0		mg/day	(添) * 3		
GLU	ヘキソキナーゼ・G-6-PDH 法	130～500		mg/day	(添) * 3		
AMY	JSCC 標準化対応法 (G7-pNP 基質法)	50～500		U/L	(添) * 17		
NAG	MPT-NAG 法	< 11.5		IU/L	(添) * 13		
CRE	酵素法	1000～1500		mg/day	(添) * 3		
UN	Urease-GLDH 法	6500～13000		mg/day	(提)		
UA	Uricase-POD 法	400～800		mg/day	(提)		
OSM	氷点降下法	50～1300		mOSM/K g	(提)		
ALB（微量アルブミン）	免疫比濁法	< 30 mg/g・Cr（随時尿）、< 30 mg/day			(添) * 3		
IgG	免疫比濁法	<1.0 6	mg/dL		(添) * 13		

d) 脳脊髄液検査

検査項目	方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容 器 番 号	材 料
CFP（脳髄液蛋白）	ピロガロールレッド法	8～43	mg/dL	(添) * 3	14	髄液
GLU	ヘキソキナーゼ・G-6-PDH 法	50～75	mg/dL	(提)		
Cl	イオン選択電極法（希釈法）	120～125	mmol/L	(提)		
Na	イオン選択電極法（希釈法）	130～150	mmol/L	(提)		
K	イオン選択電極法（希釈法）	2.5～3.5	mmol/L	(提)		
IgG	免疫比濁法	1.63～ 3.15	mg/dL	(添)* 13		



細胞種類	検鏡			
髄液細胞数	計算盤法	5 個 / μ L 以下	(提)	

出典(試薬添付書、メーカー推奨)

*1: アルフレッサファーマ株式会社	*8: 東ソー株式会社	*15: エーディア株式会社
*2: 株式会社シノテスト	*9: ロシュ・イグ・ノスティックス株式会社	*15: エーディア株式会社
*3: 富士フイルム和光純薬工業株式会社	*10: 極東製薬工業株式会社	*16: キヤノンメディカルダイアグノスティックス株式会社
*4: 株式会社 LSI メディエンス	*11: アボットジャパン合同会社	*17: 株式会社セロテック
*5: 株式会社カイノス	*12: ホソクリニカルダイアグノスティックス株式会社	*18: パイオラッドラボラトリーズ株式会社
*6: 積水メディカル株式会社	*13: ニットボーメディカル株式会社	
*7: 株式会社ヘレナ研究所	*14: デンカ株式会社	

e) 尿一般検査

検査項目		測定方法	基準範囲	備考	基準範囲 出典	容器 番号	材料
尿一般	白血球	白血球のエステラーゼ活性測定法	(-)	・入院患者検体はスピッツに 10mL 入れ提出してください。 ・外来患者分は患者本人が中央採血室の採血・採尿自動受付機で受付後、採尿カップをとり採尿室で採取後、専用の提出口に出してください。 提出場所：外来棟尿一般検査室	(書)*1	10	尿
	亜硝酸塩	グリース法	(-)				
	ウロビリノーゲン	アゾカップリング法	(±)				
	蛋白	pH 指示薬の蛋白誤差法	(-)				
	pH	pH 指示薬法	4.8~8.0				
	潜血	ヘモグロビン(Hb)のペルオキシダーゼ様作用	(-)				
	比重	屈折計法 試験紙法	1.006~1.030				



	ケトン体	アルカリニトロブルシド法	(-)			
	ビリルビン	アゾカップリング法	(-)			
	ブドウ糖	酵素 (GOD, POD法)	(-)			
	尿沈査	フローサイトメトリー法 鏡検法				
便潜血検査			(-)	・OC-ヘモキャッチ栄研容器で採取後、外来棟尿一般検査室に提出して下さい。	(書)*2	15 便

出典 (書)*1：最新尿検査その知識と病態の考え方第3版 メディカルジャーナル社
2021年

(書)*2：一般検査技術教本 丸善出版株式会社 平成29年3月31日発行

f) 血液検査

検査項目	測定方法	基準範囲	基準範囲出典	容器番号	材料
白血球	フローサイトメトリー法	$3.3 \sim 8.6 \times 10^3 /\mu\text{L}$	(共)	03	全血 (EDTA加)
赤血球	シースフローDC検出法	M: $4.35 \sim 5.55 \times 10^6 /\mu\text{L}$ F: $3.86 \sim 4.92 \times 10^6 /\mu\text{L}$	(共)		
ヘモグロビン	SLS-ヘモグロビン法	M: $13.7 \sim 16.8 \text{ g/dL}$ F: $11.6 \sim 14.8 \text{ g/dL}$	(共)		
ヘマトクリット	シースフローDC検出法	M: $40.7 \sim 50.1 \%$ F: $35.1 \sim 44.4 \%$	(共)		
平均赤血球容積	フローサイトメトリー法	$83.6 \sim 98.2 \text{ fL}$	(共)		
平均赤血球色素量		$27.5 \sim 33.2 \text{ pg}$	(共)		
平均赤血球色素濃度		$31.7 \sim 35.3 \text{ g/dL}$	(共)		
血小板	シースフロー	$158 \sim 348 \times 10^3 /\mu\text{L}$	(共)		



	DC 検出法			
白血球分類	機械法	分葉核 好中球	37.0～72.0 %	(工)
		リンパ 球	20.0～50.0 %	
		単球	4.1～10.6 %	
		好酸球	0.6～8.3 %	
		好塩基 球	0.0～1.3 %	
	目視法	桿 状 核 球	0.5～6.5%	(提)
		分葉核 球	38.0～74.0%	
		リ ン パ 球	16.5～49.5%	
		単球	2.0～10.0%	
		好酸球	0.0～8.5%	
		好 塩 基 球	0.0～2.5%	
	機械法(絶対数)	好 中 球 (絶 対 数)	1.500～7.500×10 ³ /μL	(提)
		リ ン パ 球 (絶 対数)	1.000～4.000×10 ³ /μL	
		単 球 (絶 対 数)	<0.800 ×10 ³ /μL	
		好 酸 球 (絶 対 数)	<0.500 ×10 ³ /μL	
		好 塩 基 球 (絶 対数)	<0.05 ×10 ³ /μL	
網赤血球	フローサイトメ	0.5～2.5%		(提)



	トリー法				
ペルオキシダーゼ (PO) 染色	DAB 法				血液／骨髄穿刺液
アルカリフォスファターゼ (ALP) 染色	朝長法	NAP スコア : 170～330	(エ)		血液
2重エステラーゼ (2ES) 染色	L i 法				血液／骨髄穿刺液
鉄 (Fe) 染色	ベルリン青法				骨髄穿刺液
酸フォスファターゼ (ACP) 染色	fast garnet GBC 法				
赤血球沈降速度	ウエスターグレン準拠法	M : 2～10 mm/1 時間 F : 3～15 mm/1 時間	(提)	12	全血 (クエン酸 Na 加)

出典 (共) : 共用基準範囲

(提) : 臨床検査法提要第 35 版 金原出版

(エ) : エビデンスに基づく検査診断実践マニュアル第 1 版 2011

g) 凝固検査

検査項目	測定方法	基準範囲	基準範囲出典	容器番号	材料
FDP	ラテックス凝集法	<5μg/mL	(提)	04	血漿 (クエン酸 Na 加)
D ダイマー	ラテックス凝集法	< 1μg/mL			
プロトロンビン時間	凝固時間法	11.4 ～ 14.0 秒	(提) (添)	04	血漿 (クエン酸 Na 加)
		80～100 %			
		INR 1.00			
APTT		22.5～37.5 秒	(提)		
フィブリノーゲン	200 ～ 400 mg/dL				
アンチトロンビンⅢ定量	合成基質法	80 ～ 130%			
プラスミノゲン定量		80 ～ 130%			
アンチプラスミン		80 ～ 130%			
TAT トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体	CLEIA 法	4ng/mL 未満			



血小板粘着能	Salzman 改良法	30 ～ 70%		03	全血 (EDTA 加)
血小板凝集能 (血小板機能評価用)	光透過法(比濁法)	最大凝集率 50 %以上		04	血漿 (クエン酸 Na 加)
赤血球抵抗試験	パーパート法	報告書参照		05	全血 (ヘパリン Na 加)
クロスミキシング試験 (APTT)	凝固時間法	報告書参照		04	血漿 (クエン酸 Na 加)

出典 (提) : 臨床検査法提要第 35 版 金原出版

(添) : 試薬添付書メーカー推奨 積水メディカル株式会社

h) 細胞性免疫・骨髄検査

検査項目		測定方法	基準範囲	基準 範囲 出典	備考	容 器 番 号	材料
細胞表面マーカー	T 細胞・B 細胞 百分率	フ ロー サ イ ト メ ト リ ー 法	CD3 : 58.0 ～ 84.0%	(提)		05	血 液 ／ 骨 髄 穿 刺 液 (ヘパリン加)
			CD19 : 5.0 ～ 24.0%				
	T 細胞サブセッ ト検査		CD4 : 25.0 ～ 56.0%	(書)			
			CD8 : 17.0 ～ 44.0%				
			CD4/CD8 : 0.6 ～ 2.9%				
	B 細胞表面免疫 グロブリン		CD3 : 58.0 ～ 84.0%	(提)			
			CD19 : 5.0 ～ 24.0%				
			CD20: 3.0～20.0%				
			B 細胞表面 IgG: 1.0～3.0%				
			B 細胞表面 IgA: 1.0～3.0%				
			B 細胞表面 IgM: 3.0～12.0%				
			B 細胞表面 IgD: 1.0～10.0%				
			B 細胞表面 Igκ: 3.0～8.0%				
			B 細胞表面 Igλ: 1.0～5.0%				
	白 血 病 リ ン パ 腫解析						
PNH 型細胞	< 0.01 %	(提)					
CCR4 タンパク	別紙報告		注 1 を参照				



骨髓穿刺検査					各種容器	骨髓穿刺液
--------	--	--	--	--	------	-------

出典 (書)：日本検査血液学会編：スタンダード検査血液学第4版

(提)：臨床検査法提要 第35版(金原出版)

[注意事項]

注1：この項目は難治性 ATL 患者または、ATL 再発の患者のみを対象としています。

i) 血液ガス検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	容器番号	材料
pH	電位差測定法	7.35～7.45		13	全血
PCO ₂	電位差測定法	M：30～48 F：27～39	mmHg		
PO ₂	電流測定法	83～108	mmHg		
HCO ₃ ⁻	演算	21.2～28.3	mmol/L		
BE	演算	-2～3	mmol/L		
ctHb	吸光度測定法	M：14.0～17.5 F：12.3～15.3	g/dL		
Hct	演算	M：42～52 F：37～48	%		
sO ₂	吸光度測定法	95～99	%		
O ₂ Hb	吸光度測定法	94～98	%		
COHb	吸光度測定法	0.5～1.5	%		
MetHb	吸光度測定法	0.0～1.5	%		
FHHb	吸光度測定法	0.0～0.5	%		
ctO ₂	演算	8.4～9.9	Vol%		
ctCO ₂	演算	M：23.3～29.7 F：22.3～28.4	mmol/L		
K ⁺	電位差測定法	3.4～4.5	mmol/L		
Na ⁺	電位差測定法	136～146	mmol/L		
Cl ⁻	電位差測定法	98～106	mmol/L		
Ca ²⁺	電位差測定法	1.15～1.29	mmol/L		
AnGap(+K ⁺)	演算	10～20	mmol/L		



Glu	電流測定法	70～105	mg/dL		
Lac ※	電流測定法	4.5～14.4	mg/dL		
		0.5～1.6	mmol/L		

出典：メーカー推奨（ラジオメーター社）

[注意事項]

※ラクテートは mmol/L の結果も併記致しますが、mg/dL の結果からの換算式による報告となります。mg/dl→mmol/L に伴い、mmol/L 値は見かけ上約 1/9 倍となります。

j) 細菌検査

項目	備考	容器番号	材料
一般細菌	塗抹顕微鏡検査は、当日中に結果を報告します。 同定検査：MALDI バイオタイパーを用いた質量分析法による同定 血液培養検査は、菌検出の都度主治医に電話連絡します。 なお、陰性報告は 1 週間以上を要します。	各種 専用 容器 14、 30～ 35	尿、 喀痰、 膿（開放、 閉塞）、 便、 髄液、 血液、 組織、 その他
抗酸菌	塗抹顕微鏡検査は、当日中に結果を報告します。 培養が陽性になった場合は、その都度連絡します。 なお、陰性報告は 8 週間を要します。		
薬剤感受性検査 (一般細菌・酵母様真菌)	カテゴリー(S,I,R)は、CLSI の基準に基づいて表示してあります。 なお、カテゴリー設定が無いものは未表示になります。		
質量分析法による抗酸菌同定	原理：MALDI バイオタイパーを用いた質量分析法による抗酸菌同定	該当なし	培養菌
CD トキシン	原理：イムノクロマト法	基準範囲（陰性）	34 糞便

k) 新型コロナウイルス抗原定量（ルミパルス）検査

検査項目	測定方法	基準範囲	単位	基準範囲 出典	容器番号	材料
SARS コロナウイルス 抗原 (新型コロナ抗原検査)	CLEIA 法 (化学発 光酵素免 疫測定 法)	唾液：(－) ＜0.67 鼻咽頭ぬぐい液： (－) ＜1.00	pg/mL	(添)	唾液：34 鼻咽頭ぬぐい液： 専用採取セット	唾液 鼻咽 頭ぬ



						ぐい 液
--	--	--	--	--	--	---------

出典 (添): 添付文書 ルミパルス SARS-CoV-2Ag 富士レバイオ株式会社

l) 遺伝子検査

(a) 抗酸菌遺伝子検査

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
結核菌-PCR	PCR 法	検出菌種 <i>Mycobacterium tuberculosis</i>	滅菌スピッツ(14)、滅菌シャーレ(31)、PP スクリューカップ(34)、EDTA 入り紫キャップ試験管(03)等。 滅菌容器であれば各診療科で採取しやすい容器で可(ヘパリン不可)。	喀痰、 気管支洗浄液、 その他
MAC-PCR	PCR 法	検出菌種 <i>Mycobacterium avium</i> <i>Mycobacterium intracellulare</i>		

(b) CD トキシン遺伝子検査

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
CD トキシン遺伝子	PCR 法	検出遺伝子 <i>Clostridioides difficile</i> トキシン B (tcdB) 遺伝子		

(c) ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子検査

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子	PCR 法	検出遺伝子 <i>mecA</i> 、 <i>SCCmec</i>		

[注意事項]

※ 血液培養陽性検体で *Staphylococcus aureus* が検出された際に実施する。

(d) 多項目遺伝子検査(FilmArray)

検査項目	測定方法	備考	容器	材料
微生物核酸同定検査(呼吸器)	PCR 法	検出遺伝子 Adenovirus Coronavirus 229E	35	鼻咽頭ぬぐい



		Coronavirus HKU1 Coronavirus NL63 Coronavirus OC43 SARS-CoV-2 Human Rhinovirus/Enterovirus Influenza A Influenza B Parainfluenza Virus1 Parainfluenza Virus2 Parainfluenza Virus3 Parainfluenza Virus4 RS Virus <i>Bordetella paraperutussis</i> <i>Bordetella pertussis</i> <i>Chlamydia pneumoniae</i> <i>Mycoplasma pneumoniae</i>		
微生物核酸同定検査(髄膜炎・脳炎)	PCR 法	検出遺伝子 <i>Escherichia coli</i> K 1 <i>Haemophilus influenza</i> <i>Listeria monocytogenes</i> <i>Neisseria meningitidis</i> <i>Streptococcus agalactiae</i> <i>Streptococcus pneumoniae</i> サイトメガロウイルス エンテロウイルス 単純ヘルペスウイルス 1 単純ヘルペスウイルス 2 単純ヘルペスウイルス 6 ヒトパレコウイルス 水痘帯状疱疹ウイルス <i>Cryptococcus neoformans/gatii</i>	14	髄液

(e)造血器腫瘍核酸増幅検査

検査項目	測定方法	参考値	容器番号	材料	採血量
------	------	-----	------	----	-----



Major bcr-abl mRNA	RT nested-PCR 法	(-)	16 専用容器(青黒)	全血、 骨髓液	4mL
minor bcr-abl mRNA					
AML1-MTG8 mRNA					
PML-RARa mRNA					

m) 生理検査

検査項目	測定方法	基準範囲及び臨床判断値	備考	出典
心電図	四肢単極誘導及び胸部誘導を含む12誘導	・P波：幅 0.06～0.10sec 高さ 0.05～0.25mV ・HR(RR 間隔)：(安静時) 50～100/min		(書)* 1
加算平均心電図		・PR 時間：0.12～0.20sec		(書)* 2
長時間記録心電図 (Holter 心電図)	双極誘導法	・QRS 時間：≤0.10sec ・QRS 電気軸：-30°～+110°		
運動負荷心電図 (トレッドミル) (マスター)	Mason-Likar 法	・QT 時間：0.36～0.44sec (成人) ※QTc：0.35～0.44sec 《記録条件》 紙送り速度：25mm/sec 感度：1mV=10mm		
脳波	10-20 法	異常脳波を認めないこと。 《異常脳波の例》 【てんかん】 棘波、鋭波、棘徐波複合などの突発性異常波が出現する。 【脳炎】 急性期には徐波がみられ、徐々に改善する。 【器質性障害】 脳腫瘍、脳血管障害、頭部外傷による脳機能障害により徐波化を示す。 【意識障害】 程度に応じて徐波化が起こる。 【脳死】 全誘導で平坦化する。		(書)* 2



血圧脈波		【ABI】 ・ 正常値：0.91～1.40 (0.91～0.99)境界域 ・ 末梢動脈疾患(PAD)と判断： ≤ 0.9 【baPWV】 ・ 中等度リスク（Framinghamリスクスコア）生活習慣改善が推奨される血管リスクレベル：1400/s ・ 心血管事象発症リスクレベル：1800/s 【CAVI】 ≪CAVI予測式≫ 男性： $CAVI = 5.43 + 0.053 \times \text{年齢}$ 女性： $CAVI = 5.34 + 0.049 \times \text{年齢}$		(書)* 3 (書)* 4
FMD 検査（血管内皮機能検査）		7%以上：正常値 4～7%：境界域 4%未満：血管内皮機能障害疑い	(注 2)	(メ)
24 時間血圧測定		高血圧基準：（収縮期血圧／拡張期血圧） 診察室血圧： $\geq 140/90$ mmHg 家庭血圧： $\geq 135/85$ mmHg 自由行動下血圧 24時間： $\geq 130/80$ mmHg 昼間： $\geq 135/85$ mmHg 夜間： $\geq 120/70$ mmHg	(注 1)	(書)* 5
肺機能	気量型	VC：予測値の 80%以上 FEV1.0：予測値の 80%以上 FEV1.0%G：予測値の 70%以上 AT：5%以下 V50/V25：3.0 以下		(書)* 6 (書)* 7 (書)*
精密肺機能	FRC：He ガス希釈・恒量式閉鎖回路法 DLCO：1 回呼吸	DLCO：予測値の 80%以上 DLCO/VA：予測値の 80%以上 $\angle N2$ ：(18～38 歳) $0.7 \pm 0.3\%$ (50～77 歳) $1.8 \pm 1.1\%$	(注 1)	8



	法 CV：単一呼吸による窒素洗い出し法			
肺機能可逆試験	気量型	改善量 $\geq 200\text{mL}$ かつ改善率 $\geq 12\%$		
基礎代謝	気量型	BMR： $\pm 15\%$ 以内		
新生児聴力検査		Pass	(注3)	

[注意事項]

(注1)：精密肺機能検査は食後2時間以上経過、検査4時間前から禁酒、検査24時間前から禁煙を指示してください。

(注2)：食後10時間以上経過していない方は検査できません。水分は水のみ可です。血液抗凝固作用のある薬を服用されている場合、あるいは病状や体質などにより、腕を圧迫したときに皮下出血を起こし一過性の斑が出ることがあります。

(注3)：検査対象となる新生児は生後6ヶ月まで、退院できる健康状態であり、出生時に奇形がないことが検査条件です。

《基準範囲及び臨床判断値の出典》

(書)*1：社団法人日本臨床衛生検査技師会 編：認定心電技師のための心電図の読み方 東広社、2009年

(書)*2：東條尚子ほか著：最新臨床検査学講座 生理機能検査学 第1版、医歯薬出版株式会社、2017年

(書)*3：折茂肇：新しい動脈硬化指標 CAVI のすべて 初版、日経メディカル開発、2009年

(書)*4：[ダイジェスト版] 血管機能の非侵襲的評価法に関するガイドライン JCS、2013年

(書)*5：24時間血圧計の使用（ABPM）基準に関するガイドライン、2010年

(書)*6：安倍紀一郎 他：関連図で理解する 呼吸機能学と呼吸器疾患のしくみ 第1版、日経研出版

(書)*7：社団法人日本臨床衛生検査技師会：呼吸機能検査の実際 第1版、株式会社高山、2005年

(書)*8：日本呼吸器学会 肺生理専門委員会 呼吸機能検査ハンドブック

(メ)：株式会社ユネクス

曜日及び時間帯指定検査項目



	午前（8：30～12：00）	午後（13：00～17：00）
月	負荷心電図（外来）	負荷心電図（入院）
火	負荷心電図（外来）	負荷心電図（入院）、新生児聴力検査
	精密肺機能	精密肺機能
水	負荷心電図（外来）	負荷心電図（入院）
木	負荷心電図（外来）	負荷心電図（入院）、新生児聴力検査
	精密肺機能	精密肺機能
金	負荷心電図（外来）	負荷心電図（入院）、新生児聴力検査
	精密肺機能、基礎代謝 ※1	精密肺機能

※1：基礎代謝は8時30分より開始しますので、前日及び当日の条件を確認しておいて下さい。

検査所要時間

※検査が混み合う時間帯は結果報告が遅くなることもあります。

(1) 生化学検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
生化学検査（下記の検査以外）	1 時間	ICG	2 時間
蛋白分画	3 業務日	アンモニア	30 分
HbA1c、血糖	30 分		

(2) 血清検査（免疫学検査）

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
血清検査（下記の検査以外）	1.5 時間	エンドトキシン β-D-グルカン	3 時間
		尿中レジオネラ抗原 尿中肺炎球菌莢膜抗原	1 時間

(3) 一般検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
尿定性	30 分	便潜血	外来：15 分 入院：当日
尿沈渣	3 時間 30 分		



※外来検体を優先します。

(4) 尿生化学検査

検査項目	所要時間
尿生化学検査	1時間

(5) 血液検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
血球計数 血液像(機械法)	30分	ペルオキシダーゼ染色 ※ アルカリフォスファターゼ染色 エステラーゼ染色 鉄染色 酸フォスファターゼ染色	2 業務日
細胞表面抗原検査	6時間	骨髄穿刺検査 ※	5 業務日
赤血球沈降速度	3時間	凝固・線溶検査	1時間
赤血球抵抗試験	2 業務日	血液ガス	30分

※骨髄のメイグムザ染色標本とペルオキシダーゼ染色標本については、検査当日に標本各1枚ずつ供覧できるように染色を実施いたします。

(6) 細菌検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
一般細菌 (塗抹・顕微鏡検査)	6時間	抗酸菌 (塗抹・顕微鏡検査)	当日
一般細菌 (培養・同定)	3 業務日	抗酸菌 (培養検査)	8 週間※
一般細菌 (薬剤感受性検査)	4 業務日	質量分析法による抗酸菌同定	1 業務日
酵母様真菌 (薬剤感受性検査)	8 業務日		
CD トキシン	2時間		

※培養陽性時はその都度報告します。



(7)新型コロナウイルス抗原定量(ルミパルス)検査

検査項目	所要時間
SARS コロナウイルス抗原(新型コロナ抗原検査)	1～2 時間

(8) 遺伝子検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
結核菌群遺伝子検査 結核菌-PCR MAC-PCR	1～2 業務日	造血器腫瘍核酸増幅検査 Major bcr-abl mRNA minor bcr-abl mRNA AML1-MTG8 mRNA PML-RARa mRNA	2 業務日
CD トキシン遺伝子検査	2 時間	ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子検査	2 時間
微生物核酸同定検査	2 時間 30 分		

(9) 生理検査

検査項目	所要時間	検査項目	所要時間
心電図	30 分(小児は省く)	24 時間血圧測定	2 業務日
長時間記録心電図	3 業務日	負荷心電図	2 時間
脳波	2 時間(睡眠時が必要な場合は省く)	肺機能(可逆試験含む) 基礎代謝 血圧脈波、FMD 検査	1 時間
新生児聴力検査	40 分		

